

第四章 情動転写の技法を伝授します

◆ステップ1 強い情動を作る

では、順を追って実際の「情動転写」のやり方について説明して行きたいと思います。

まず一番はじめに「彼との望むゴール」を決めます。

人によってはそれが「結婚」ということになるかも知れません。

もしくはそういった形にとらわれない「唯一かけがえのないパートナーになること」かも知れません。

先ほどもお伝えしましたが、情動転写ではいわゆる「感覚」といったこと以上のたくさんの情報を相手に書き込むことができます。

もちろん、ただ強烈にフィーリングが合って、ノリもばっちりにするといった単純で分かりやすい働きかけもできます。

ただそれでは、宝の持ち腐れです。

時速三百キロ以上のスピードで走れる「フェラーリ」に乗って、三十分メートル先のコンビニに買い物に行くようなものです。

それでは非常に勿体ないです。

私はこの「情動転写の技法」を体系化し、公開講座などでもお伝えしています。

その中でも情動を生み出す方法を【情動デザイン】として、重要な位置付けとしてお教えしています。

ある意味この【情動デザイン】がどれだけ上手くできるかで、相手に及ぼす影響の結果が変わってしまいますので、ぜひシッカリと作っていただけたらと思います。

そのためには「望む未来のゴール」を強くイメージして感じることです。

「脳はイメージと現実を区別しない」のです。

あなたがアリアリと未来のイメージを描き、そこにリアルな感情を感じられたら、それが【脳とココロ（潜在意識）】の現実になるのです。

◆ステップ2 相手と共感的な状態を創る

「情動転写の技法」は第三章の終わりでもお伝えした通り、【強い情動＋深い共感】です。

いくら強い情動を作れたとしても、相手とあまりに隔たりがある状態では伝わって行きません。

それはブロックされてしまっている状態です。

メールなどでもブロックされてしまえば、いくら送信しても届きません。

ではどのようにすれば、深い共感的な「ラポール」を築けるのでしょうか？

それにはまず「自分が心を開くこと」です。

ミラーニューロンについてお話ししましたが、私たちは目の前の相手と意識しなくても「生体的な同調反応」を起こしています。

つまりは【ホメオスタシスの同調】です。

「人の名前を聞く時は、まず自分が名乗ること」などと言いますが、相手にして欲しいことがあれば、こちらが先に示してあげるとスムーズです。

なぜなら先にも書きましたが、私たちは意識しようとしまいと【時間と空間を共有する】うちに自然と同調していくからです。

まずは自分から心を開いて「相手に合わせて共感的な気持ちになること」。

そうすることで、自然と共感と同調は生まれてきます。

遠隔の場合も基本的に同じになります。

まずは自分が「心を開いた共感的な状態になる」ことです。

でもこれだけだと、かなり感覚的で難しく感じるかも知れません。

一つヒントを出すなら「身体を緩めること」です。

「心を開く」とは、力が入っていないリラックスした穏やかな状態です。

心とはすなわち身体です。

心の緊張は身体に現れます。

心が緩めば必ず身体も緩みます。

逆に言えば「身体を緩めると心も緩む」という事です。

ぜひそのように「身体をリラックスさせる」ことを意識しながら、まずは自分が心を開いた共感的な状態を作るように心がけてみてください。

◆ステップ3 強烈に情動を発火する

大好きな彼と同じ空間で「共感的な状態」が作れたら、今度ははじめに作った情動を強烈に感じるようにします。

【感情の転移】ということでお伝えしたように、ある程度の「共感的な一体感」を感じられる状態であれば、それだけで情動は伝染して行きます。

そして当然、強く感じるほど相手にも強く影響を与えることができます。

応用的な技術としてイメージや言語を使った転写のやり方もあります。

ですがまずは「感情」を強く感じるようにされてください。

なぜなら【強い情動】こそが、一番本能に根ざした強力な行動を促すエネルギーだからです。

「強い感情」＝「情動」＝「体感覚」です。

この方程式をどうか忘れずに覚えておいてください。

つまりは「強い情動を発火させる」とは、「大好きな彼と共感的につながった状態で、強烈に恋するドキドキや体が熱くなる感覚を感じるようにする」という事です。

「体感覚」というチャネルを使う事で、より意識に気づかれずに彼の「無意識に介入」することができるでしょう。

◆ステップ4 相手との一体感のなかで情動を最大化する

その状態で「大好きな彼とラブラブに付き合っている」ドキドキ感を最大にしてください。

強烈に情動を感じるほどに、彼に対しても強力に感染して行きます。

ですので、いつでも強烈に情動を感じられるようになることが大切になります。

ではどうすれば、いつでも好きなように強烈な望む情動を引っ張り出せるようになるのでしょうか？

答えはとても簡単です。

それは彼に仕掛けるまえに、一人で何度も練習しておく事です。

私たちの神経回路は繰り返すことで、太く強固なものになって行きます。

はじめは通りづらい山のなかの木々の隙間の「獣道（ケモノミチ）」
のような神経回路が、何度も通っているうちに舗装された道路になり、
最後は三車線の幹線道路のようになるような感じです。

シッカリと強く臨場感の高い情動をデザインする事。

そしてそれをいつでも引っ張り出せるように練習しておく事。

あとは目の前の彼と「共感的な一体感」を作って、情動を強烈に発火させればオッケーです。

遠隔の場合は目の前に「大好きな彼」をイメージして同じようにやってください。

この場合も「いかに自分の中に強い情動を作れるか？」が、情動転写を強力にする鍵になります。

ぜひ何度も繰り返し練習するようにされてみてください。

◆変化にはタイムラグがある

ここまで「情動転写の技法」の原理と仕組み、そして具体的なやり方についてお伝えしてきました。

実際にシッカリと行えば相手の無意識にたいして影響を及ぼすことができるでしょう。

はじめにお伝えした事例報告についても、同じくこの技法を正しく行った結果に起こってきたことです。

ですが注意していただきたいのは、「変化にはある程度の時間がかかる」ということです。

とは言え、実際には「やって一日二日で効果が出てしまった」というご報告もいただいております。

なので「時間をかけなければならない」と思ってしまうと、それも可能性を制限する「リミティングビリーフ（制限的な思い込み）」になってしまいます。

ただ基本的には「物理レベル」よりも上の次元である「情報空間」からの働きかけになりますの。

当然、波動にも違いがあります。

物理的な次元にそのエネルギーが変換されるのに、多少時間を要すると考えていただければ結構です。

「やってみたけど効果がなかった」などと言われる方のほとんどが、「1回チョコッとやってみただけ」といった感じです。

例えるなら「腹筋を三回やってみたけど、シックスパックに割れなかった」とい

うのと同じです。

ここまでお伝えしてきた通り、情動転写の技法は魔法のようでありながらも「脳とココロ（潜在意識）の仕組みに基づいた技術」です。

今では当たり前になり走り回っている自動車ですらも、上手に運転できるようになるには教習所での訓練が必要になります。

さすがに「とりあえず車に乗ってみたけど、走らなかった」と言って、後部座席にただ座って走り出すのを待っていた……というのではお話になりません。

ここまでお読みくださっている方は、そういったことはないと思います。

ただそれでも、残念ながら「見えざる世界」をお伝えしていると、そういう勘違いをされる方も非常に多いのです。

私自身も正直、昔はそうでした。

常にファンタジーと魔法を期待して、雑誌の裏にある「願いが叶うペンダント」なるものを購入したこともあります。

今では笑い話ですが、何もしなくてもそれだけで全てがうまくいってしまうのではないかと本気で思っていたのです。

実は波動やエネルギーという観点から言えば、そういったパワーグッズや風水も本物を正しく使えば恐るべき効果があります。

ただ、私も恥ずかしながら「ただ後部座席に座って、走り出すのを待ってしまっていた」のです。

情動転写はより脳とココロ（潜在意識）の仕組みに基づいた「魔法のようであるけれど、現実的なテクノロジー（技術）」です。

それは世界中に一瞬にして情報を伝達するインターネットの技術や、空を飛び回る飛行機を動かす航空力学のようなものです。

「飛べ」と念じただけでは、飛行機は飛びません。

キチンとした「オペレーション（操作方法）」を理解して、運転技術を身に付けてはじめて乗りこなすことができます。

そういった意味では、情動転写も同じです。

◆不安も伝染するので注意です！！

情動転写は技術です。

ですから、ただ「都合良く自分の思い通りになる」わけではありません。

大好きな彼に対して「どうせうまくいかないのではないか？」という不安が強くあったとしたら？

それも相手に伝わってしまいます。

人間ですからそのように思うことがあっても不思議ではありません。

ですが実際に情動転写を行っているときにまで「でもどうせムリ……」と感じてしまったら、それは相手にも伝わってしまいます。

まずはシッカリ落ち着いて「理想の情動」を作れるようになることが大切です。

大好きな彼との理想の状況を思い描いても、ダメになる不安で胸が苦しくていっぱいになってしまう……

もしそんな状態になってしまったら、一度ストップしてください。

気分転換をしてリフレッシュして、気分が良い時に行うようにされてください。

そういった意味では、情動転写を行う前にいい状態になっておくのもポイントです。

お散歩をしたり、好きなことを楽しんだりして、良い気分とリラックスした状態になっておくといいです。

リラックスするほどに深い情動を感じることができます。

なぜなら「情報空間（イメージの世界）」に入りやすくなるからです。

催眠を施術するときに目を閉じるのも、「今ここ」の情報をシャットダウンするのが目的です。

私たちは「今ここの世界」を、五感を通して認識しています。

「大好きな彼との理想の状態」を感じるということは、「今ここ」から五感の認識を「情報空間」に向けることです。

つまりは今この意識から離れて、妄想にのめり込んだ状態です。

身体のどこかが緊張していれば、今ここにとどまってしまいます。

リラックスして身体の余計な力が抜けるほどに、私達の意識は自由に情報空間を動けるようになります。

それはさしずめ「幽体離脱」のようなものです。

「不安」は身体的な緊張を生み出します。

そして身体に意識を縛りつけます。

そうすると「理想の現実」というもう一つのバーチャルな情報空間に入って行きなくなります。

さらに良くないことに、今度はその「不安」という身体の緊張が持っている【感覚情報】から、失敗のイメージを生み出してしまうということです。

同じように身体が記憶している「過去の不安」を引っ張り出してしまうということです。

世界的なパートナーシップの専門家であるジョン・グレイは「感情の九割は過去のものであり、今ここにあるのは残り一割である」と述べています。

つまりはほとんどの強烈に起こってくる感情は「過去のもの」ということです。

私達は現実を「過去の記憶の参照」でしか認識することができません。

意味もなく起こってくる恋愛での不安のほとんどが、過去の痛みの体験からくる【感情的・感覚的なフラッシュバック】です。

今度はそれが相手に転移してしまうと大変なことになります。

「過去に浮気をされてズタズタに傷つけられてしまった」というストーリーを大好きな彼に転写してしまうということです。

カウンセリングでも「何度も繰り返す不幸な恋愛のパターン」を持っている女性が多いです。

というよりも、私たちはそもそもが「心の中に持っている物語」に沿って生きています。

「物語」とはこの世界に対してのあらゆる【定義づけ・観念】です。

ビリーフ（信念・思い込み）であり、恋愛や男性に対して、さらには生き方などの世界の見方や物の見方のフォーマットです。

つまりはあなた自身の「世界と現実を生み出している物語」です。

私たちの脳とココロ（潜在意識）の認知の仕組みでは、この世界をあるがままにとらえることはできません。

全て脳内で処理された「都合良く加工された現実によく似たバーチャルな情報」なのです。

情動転写は脳とココロ（潜在意識）の仕組みに基づいたテクノロジーです。

法則と同じく忠実に機能します。

つまりは良きことも悪しきことも同じように平等に働くということです。

◆ゴールは明確にしてください

先にも書きましたが「全てはゴールが決める」と言っても過言ではありません。

もし「彼とラブラブになりたい」だけのゴールであれば、都合良い「身体だけの関係」になってしまうかも知れません。

それでも確かに一緒にいる時はラブラブで望み通りになっているから、叶っていると言えなくもありません。

**実際に潜在意識を活用した引き寄せの結果、このようになってしま
うケースは少なくありません。**

お伝えした通り、全ては「仕組みと原理」なのです。

そこに善悪はありません。

原子力を使って人類がより良くなるためのエネルギーに活用することもできれば、それを破壊的な爆弾に使うこともできるのと同じです。

【右脳の第三言語】とも言える情動転写で伝える**波動的なエネルギー**は、**多くの情報を含んでいます。**

波動的なエネルギーとはここで言う「フィーリング」であり「体感覚」です。

そういった**【波動情報】**は、左脳の言語情報よりも包括的に様々な情報を持っています。

そういう意味で言えば、「明確なゴールを設定しない」ことは「他の望んでいないゴールにたどり着いてしまう可能性」をインプットすることにもなりかねないのです。

ザ・シークレットでは潜在意識をランプの精に例えています。

「ハイ、ご主人様、お申しつけの通りに……」

実はこの「お申しつけの通り」というのが曲者です。

潜在意識はハッキリ言って、とても馬鹿正直です。

一番スムーズで手っ取り早く願いを叶える方法を選んで引き寄せます。

「え、でも既婚者はないでしょ!？」

「いえ、ご主人様。特に指定がなかったものですから、良いのかと思ひまして」

そういったことを踏まえて、シッカリと指示を出してあげることが大切です。

情動転写で言うならば、「キチンとゴールを設定する」といったことになります。

◆強度×頻度がポイントです

あくまで情動転写は技術です。

「なんとなくやってみた」ではうまく行きません。(実際にはうまくいってしまったというご報告もいただいています)

技術である以上、当然「コツ」のようなものがあります。

ではどのようにすれば、情動転写を強力に発動させることができるのでしょうか？

それは【強度×頻度】です。

つまりは強烈に強い情動を発火させることが一つ。

もう一つが繰り返し何度も仕掛けること。

この両方が揃うと、強烈に相手に対して影響を与えることができます。

この考え方が分かれば、あとはひたすら情動を強く感じられるようにすれば良いことになります。

さらには何度も繰り返して行うこと。

ある意味、本当に強い情動であれば一発で入ることもあります。

それが「一目惚れ」です。

モチロン容姿的なこともあります、そうではない場合も多いです。

それは「ビビビ」と何か特別なものを感じたというケースです。

実は私自身も過去何度か「ビビビ」ではないですが、運命的な特別な感覚を女性に感じたことが三回ほどあります。

三回目が今の奥さんです。

それは「好き」という感覚とは違ったものでした。

ですが、彼女が発している【特別な何か】とも言える雰囲気が、私の

中に強く流れ込んできたのを覚えています。

【特別な何か】とはここで言う「感覚的な情報」です。

つまりは無意識に発している「深い情動的なメッセージ」ということです。

「人は言葉を発せずとも、同じ空間に存在するだけでコミュニケーションを行っている」とは文化人類学者であり、精神医学者でもあったグレゴリー・ベイトソンの言葉です。

私たちが強く感じた情動的なデータは全て、身体に記憶されています。

それは私たちが醸し出す「雰囲気」として伝わります。

「雰囲気」＝【波動エネルギー】です。

「あの人はオーラがすごいね」というオーラのことです。

つまりは生き方や在り方が身体的な感覚情報として蓄積されて、雰囲気やオーラとして無意識レベルで他人に伝わっているわけです。

そこに「強い共感的なエネルギー」を感じると、特別な魅力を感じて「一目惚れ」のようなことが起こってくるのだと思います。

今回お伝えしているのは「大好きな彼をフリ向かせる」といったテーマですが、本来の【情動転写のテクノロジー】はそのように、とても汎用性が高い原理になっています。

そしてそれを強く効果的に活用する鍵となるのが「強度と頻度」なのです。

◆相手ではなくまず「自分」に仕掛けること

そしてここも大切なのですが、「まず自分に仕掛けること」が相手に強い影響を与えるベースになります。

つい「相手を思うままに動かす」といった心理技術と聞くと、相手をなんとかしてやろうというほうに意識が向いてしまいがちです。

モチロン、コンセプトとしては「自分原因ではなく、相手の無意識にダイレクトに働きかける技法」ですから、間違っではありません。

ですが、「コロンブスの卵」ではないですが、相手に働きかけるためにこそ「まずは自分に仕掛ける」のが重要なのです。

特に「情動転写」は自分の中にある「感情」や「感覚」といった情報を使います。

さらに自分の意識を通して、それを相手に伝染させるという原理を利用します。

当然、自分自身がうまく情動を作れていないならば、相手にもうまく伝わりませ

ん。

それは例えるなら「画像が荒くて、ほとんど被写体が分からない写真」をコピーするようなものです。

当たり前ですが、コピーが元の写真よりも鮮明になることはありません。

自分の中に臨場感の高くて強い情動を作れるほどに、相手にも同じような情動を転写できるのです。

そのためには圧倒的な臨場感があるのが理想です。

ではどのようにすれば、そんな強烈な臨場感を感じることができるのでしょうか？

それは、自分がまずのめり込むことです。

つまりは彼とのラブラブな妄想に入り込んで、あたかも今ここでそれが起こっているように感じることです。

そうすることで、より強い情動である「体感覚」を生み出すことができます。

「相手をトランス（催眠）に入れるには、まずは自分がトランス状態になること」とは、二十世紀最高の催眠療法家と呼ばれたミルトン・エリクソンの言葉です。

まずは自分にしっかりと仕掛けること。

それが相手に深く強い情動転写を行う基本なのです。

◆悪用厳禁ご注意を！！

ここまで一通りの情動転写の技法についてお伝えしてきました。

仕組みと原理をしっかりと理解して一つずつのステップを正しく行うなら、信じられない影響力を彼に与えることができるはずです。

もしうまくいかないなら、一つずつ原因をチェックされてください。

車の運転と同じく、うまく動かないならどこか間違えた操作をしているはずです。

ポイントをつかんで改善して行く中で、より技術は洗練されて行くでしょう。

「原理と仕組み」ですから、正しく行えば同じような結果になります。

なので、スグにできなくても根気よく諦めないで、続けて行って欲しいと思います。

むしろ心配は「技術を悪用してしまう」ということです。

モチロン、コレを読んでくださっているあなたはそうではないと信じておりま

す。

ただ「それほどではないだろう…」などと軽い気持ちでやったことが、大変なことになってしまうこともあります。

コレをお読みくださっている方々は、純粋に誰かを愛していらっしゃる素晴らしい女性ばかりでしょう。

ですからここまでの内容をお伝えしてきましたが、ある意味「読む人が読む」ならば悪用できてしまう【高度な無意識介入技術】です。

どうかそのことを、改めて肝に銘じていただければ幸いです。

先にも書きましたが、テクノロジーはあくまで使う人間次第です。

どのように素晴らしいものでも、扱う側の人間が心無いことに使えば悲劇を生みだします。

「催眠では相手を動かすことはできない。他人をコントロールするといったことはできない」

潜在意識は私たちを守るために働きます。

当然のことながら、命を脅かしたり、危害を加えたりしようとする相手を警戒してブロックします。

ですがお伝えしてきた通り、深い信頼関係をアタマではない【心の

深いレベル】で築き上げて、【高度な無意識介入技法】を使えば不可能ではないのです。

実は私たちは社会的に様々な洗脳を受けています。

一番はじめに受けるのは「親」からの洗脳です。

私たちが生きていく中で行う、あらゆる判断や選択の元になるのは【小さい頃に刷り込まれた親からの価値観や影響】です。

なぜ苦しくて生きづらくなる影響すらも親から受け入れてしまうのかと言えば、それは「本来自分を愛してくれるべき一番身近な存在」だからです。

深い共感と理解を示し、深い心でつながった相手を人は誰しも特別な存在として受け入れます。

ラポール（心理的・生体的同調）は単なる上辺のテクニックではありません。

そんな深い心と心をつなぐ、魂のコミュニケーションなのです。

だからこそ、仮に間違っても悪意の元に使って欲しくないのです。

なぜならそれは「愛」を伝える技術だと、私は信じているからです。

どうかこの技術を使って、大切な人にあなたの「想い」を届けてあげてください。

きっと今まで伝わらなかった「深い愛」が届くはずです。

あとがき～情動転写の技法は愛を伝える技術です

「私たちの意識は純粋なる愛の存在である」

たくさんの女性たちの深い心の痛みに寄り添いながら、心の旅を続けてきました。

そしてカウンセリングの中で、そういった心に触れるたびに私はそのような気づきを強く感じました。

それは理屈ではない、それこそ深い生理的で感覚的な本能的気づきです。

そしてだからこそ言えるのです。

ここまでお伝えしてきた「情動転写の技法」とは、単なる心理テクニックではないということ。

私たちの祖先が言語の存在しない時代から、大切な人や仲間と想いを伝えあつて深くつながってきた、【心と心をつなぐ愛のコミュニケーション】であるということ。

本当はあなたも感じているはずです。

私たちには心があって、言葉以上につながる「何か」があるということ。

そして言葉ではなく、人と人とをつなげているのはそういった「繊細な感覚や雰囲気」であるということ。

モチロン、恋愛でも人生でも言葉で伝えなくてはならない場面もたくさんあります。

どうかその時は、十分に現代文明の財産である言葉を使って想いを伝えてください。

愛を伝える言葉はそれこそ、この世界にあるラブソングの数以上にあるのですから……

ぜひこの情動転写の技法があなたの恋と人生にたくさんの福音をもたらしますように！！

胸いっぱいのお愛と感謝を込めて
LOAリアリスト E I J I

参考文献

- ・「フューチャー・オブ・マインド 心の未来を科学する」ミチオ・カク、 斉藤 隆央＝訳
- ・「ミラーニューロンがあなたを救う!- 人に支配されない脳をつくる4つの実践テクニック」大嶋信頼
- ・「身体に閉じ込められたトラウマ」ピーター・A・ラヴィーン、池島良子他＝訳
- ・「百匹目の猿」船井 幸雄
- ・「超弦理論」ミチオ・カク、太田信義＝訳

著者 / LOAリアリスト EIJIプロフィール

オフィス・スピリチュアルコーチング代表
恋愛セラピスト／引き寄せの法則カウンセラー

「一人一人の内側から世界を変える」をミッションに、カウンセラーとして、悩みを抱える女性を幸せにするカウンセリングや講座を提供し「クライアントの望む結果を100%出すことを約束する」をモットーに、実に多くの女性の恋愛と人生を劇的に変化させつづけている。

恋愛、仕事、人間関係、お金、ココロの問題、夢や人生の目的など、人生のすべての分野におけるライフコーチングで、既に1800件以上の相談実績がある。

ビートたけしや著名人、芸能人なども執筆する、日本最大級のメルマガポータルサイト「まぐまぐ」では恋愛心理メルマガを執筆し、3500人以上の読者からの圧倒的支持を得て殿堂入りをはたす（現在休刊中）。

5歳のときに両親が別居、父親と共に父親方の実家に引き取られ、「自分には、みんなにはいる母親がいない。自分は不完全な人間である」という思いをどこかで抱きながら、幼少時代、青春時代を過ごす。

「自分自身を本当かけられる夢をみつけて、実現したい。ココロから愛する女性と幸せな家庭を築きたい……」という想いを胸に、夢と恋愛を追いかけ続けるも、挫折と失敗の繰り返しを重ね、20歳の時に大失恋の末、夢も見失い、仕事も失い、ニート状態で引きこもる【どんぞこの絶望状態】を経験。

あるときに過去の人生で起こった経験を思い返ししながら「思ったことは現実になるのではないか？」という人生を劇的に変える気づきを得る。

そして、それから25年以上「自分の想い、願いを現実にする方法」について追求しはじめ、心理学、催眠、潜在意識の活用、スポーツ選手のメンタルトレ

ーニングや、成功哲学、勝負哲学、スピリチュアルの法則など、あらゆる分野の実践と研究に没頭する。

色々な方法を実際に試して試行錯誤しながら、失敗しては改良し続け、自身をセルフカウンセリングするなかで、徐々に結果が出始める。

大好きな恋人ができ、憧れだったリフォームの職人として27歳ではじめての経験だったにも関わらず、はじめの1か月は16～18万円だった収入を、「一人前になるには10年以上かかる」と言われる業界で、僅か2年で独立して3～5倍以上にすることに成功する。

「もしあの時に、自分自身が学んできた心のスキルや知識を教えてくれる存在がいたら……あんなに悩んだり苦しんだりせずに、もっと早く、自分の求める場所にたどり着けていたのではないだろうか？」

「あの時の自分と同じように、悩み、苦しみ、夢や希望を抱きながらも、前に進めないでいる人達にコレを伝えることができたなら、多くの人達を救うことができるのではないだろうか？」

そんな想いを胸に「すべての恋愛女子が悲劇のヒロインから卒業して、愛され女子になること」をモットーに、ブログやメール講座、個人のプライベートカウンセリング&運命鑑定などを中心に活動中。

今、もっとも熱く、人気のあるカリスマ・カウンセラーである。

◆オフィシャル公式ブログ

引き寄せの法則～脳とココロの魔法

恋愛と願いを叶える潜在意識の黄金ルール

<http://suzukieiji.net/>

発行元 Love Publishing

著者 LOAリアリスト EIJI

2018年5月24日刊行

＊すべての文中のコンテンツに関する著作権はスピリチュアルコーチングと鈴木英志に属しています。

当社への書面による事前許可なく、無断でデータの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダー、デンシレコーダー、電子メディア及びインターネット等）に複製・転載し、転売することは法律で固く禁じられております。

◆無料音声講座プレゼント

僕が1800件以上の恋愛とパートナーシップにまつわるお悩みのご相談のなかでみつけた【恋愛とパートナーシップの真実】について、メールマガジンにてお届けしています。

ご登録いただくと「**衝撃の告白～恋愛とパートナーシップにまつわる<3つの真実>**」特別音声セミナー(17分11秒)のプレゼントを受けとれます。

http://suzukieiji.net/post_lp/official_merumaga_lp/